

試合番号 : 267		試合会場 : スワンドーム (岡谷市民総合体育館)				観客数 : 510					
開始時間 : 14:00		終了時間 : 16:04		試合時間 : 02:04		主審 : 浅井 唯由					
副審 : 戸川 太輔		通算		通算		通算					
VC長野トライデント		2勝 30敗 ポイント: 8		FC東京		9勝 22敗 ポイント: 30					
監督コメント	このコロナ禍の中、大会の開催にご協力いただいている全ての皆様へ厚く御礼申し上げます。昨日出た課題を確認し、本日の試合に臨みました。課題が修正され、全員バレーで会場に駆けつけてくれたファンの皆様と一丸となりホームゲームで初勝利することができました。来週もホームゲームとなりますので、熱い応援のほどよろしくお願い致します。本日は応援ありがとうございました。			3	25	21	1	監督コメント	本日もFC東京ファンの皆さまへ勝利を届けたかったのですが、VC長野トライデントの粘り強いディフェンスの前に、勝負所で力の差が出る形となりました。来週は、今シーズン最後、そしてFC東京として最後のホームゲームなので、思い切りぶつかって勝負に挑みたいと思います。本日も応援ありがとうございました。		
					21	25					
					25	22					
					25	19					
要約レポート											
VC長野トライデントがスワンドームにFC東京を迎えるゲーム、コロナ禍の戦いで会場では声を出しての応援が制限されたが、手に汗握る接戦に、観客席からは惜しめない拍手が送られた。第1セットは終始VC長野のペース。リベロ藤中が強打を拾い、リヴァンがアタックで8得点した。セッター山岸はリヴァンを中心にセンター攻撃も織り交ぜながら相手を翻弄。FC東京は長友にボールを集め対抗するもリズムに乗ることができず、VC長野がセットを先取した。第2セット、序盤に5連続得点で勢いに乗ったFC東京がこのセットを取った。FC東京は手原がトスを振り分け、長友が要所を締めた。VC長野はスタートこそ良かったが、リヴァンにボールが回らずリズムをつかみきれなかった。第3セット、VC長野はリヴァンと池田(幸)がアタックを打ちきった。FC東京は手原が強気にトスを回し、クヴァーレンがソフトなタッチのスパイクで得点を重ねたが、VC長野は途中交代で入った樫が多彩なトスでアタッカーを活かし、最後は森崎のブロックでこのセットを締めくくった。第4セット、序盤からVC長野のペースで進んでいたが、FC東京は16-16で追いつくとVC長野を引き離しにかかる。しかし、VC長野は池田(幸)、リヴァンが強気に攻め7連続得点で逆転し、セットカウント3-1で勝利を収めた。											
試合番号 : 268		試合会場 : このはなアリーナ (草薙総合運動場体育館)				観客数 : 700					
開始時間 : 12:00		終了時間 : 13:57		試合時間 : 01:57		主審 : 村中 伸					
副審 : 高橋 宏明		通算		通算		通算					
東レアローズ		24勝 10敗 ポイント: 73		ジェイテクトSTINGS		15勝 13敗 ポイント: 44					
監督コメント	ジェイテクトの粘り強いディフェンスに苦しめられましたが、我々のサブとブロックが機能し、厳しい試合に勝利することができました。試合の中で細かいミスが多く出てしまい、乗り切れない場面もありますので、来週に向けて修正していきたいと思ひます。今日の試合を取り切れたのは、ホームゲームの皆さんの後押しがあったからだと思っています。本当にありがとうございました。			3	25	20	1	監督コメント	昨日に比べてよいプレーができました。いつも応援ありがとうございます。引き続きよろしくお祈りいたします。		
					25	22					
					25	27					
					25	23					
要約レポート											
ファイナル3進出に向け、ホームゲームで連勝を掴みたい東レアローズと、上位に絡みとどまりたいジェイテクトSTINGSの一戦。第1セット序盤、東レは富田のスパイク、パダルのブロックからリードを続ける。ジェイテクトは宮浦の攻撃を軸にレシーブ、ブロック共に粘りを見せる。しかし、東レの攻撃的な勢いがそのまま押し切りセットを取った。第2セット、ジェイテクトが序盤から攻め村山、宮浦のスパイクでリードする。東レは11-11で追いつき、富田のサービスエースからリードする展開に変わった。要所で東レ真子と西本のコンビが決まりセットを連取した。第3セット、東レはパダル、ジェイテクトはフェリペの攻撃と、両チームのブロックで互いに譲らない展開が続く。中盤、ジェイテクトが宮浦のスパイクで得点を重ね、リードしセットポイントを得る。そこから東レが鈴木サービスのサービスエースで追いつくも、ジェイテクトは陳のブロックが決まりセットを取り返した。第4セット、ジェイテクトが宮浦とフェリペの攻撃によりリードするが、東レは富田の攻撃で勢いを取り戻し、高橋のブロック、パダルのスパイクで追いつく。そのまま東レがリードする展開となり、最後は高橋のスパイクで勝利を収めた。											
試合番号 : 269		試合会場 : シシヨーオークアリーナ (呉市総合体育館)				観客数 : 940					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 15:00		試合時間 : 02:00		主審 : 富田 博一					
副審 : 弘中 秀治		通算		通算		通算					
JTサンダース広島		14勝 18敗 ポイント: 44		ウルフドッグス名古屋		20勝 8敗 ポイント: 59					
監督コメント	まずはコロナ禍の中、異でホームゲームを開催できたことを感謝申し上げます。ありがとうございました。本日もたくさんのご声援ありがとうございました。2日間の反省をもとにチームを立て直し、残りの試合をチーム一丸となって戦います。ご声援よろしくお祈りいたします。			1	14	25	3	監督コメント	世界中から応援してくださっている我々ウルフドッグス名古屋のファンの皆様、改めまして感謝申し上げます。試合の中で、選手たちが精神面でコントロールすることができたと思ひます。次の試合までいつもより時間は短いですが、できる限りの準備をしたいと思ひます。試合を通じて、チームは成長し続けますので、我々ウルフドッグス名古屋の後押しを、よろしくお祈りいたします。世界中の人々の健康と安全を心よりお祈りしております。 Unite As One!		
					25	18					
					17	25					
					18	25					
要約レポート											
ホームで何とか意地を見せたいJTサンダース広島と、昨日勝利した勢いでファイナル3進出を目指すウルフドッグス名古屋の一戦。第1セット、WD名古屋は粘りのレシーブからクレクや高梨のアタックなどで、JT広島を一気に突き放しセットを先取る。第2セットはJT広島がエドガーの連続アタック、中島のサービスエースで流れをつかむ。WD名古屋も高梨や山崎のアタックで対抗するが、JT広島は坂下に代わって入った山本のアタックやブロックなどの活躍によりセットを取り返す。第3セット、WD名古屋はクレクの連続アタックや傳田や山崎のブロックなどで点差を広げる。JT広島は流れを変えるべく合田、小野寺を投入し、徐々に追いつけるも、クレクのアタックやブロックが決まったWD名古屋がセットを奪う。第4セットは序盤から高梨やクレクのアタック、山崎のサービスエースが決まったWD名古屋がリードを広げてJT広島を押し切り勝負を決めた。JT広島は終盤に小野寺や中島のクイック、金子のサービスエースなどで食い下がるものの、WD名古屋のリベロ小川を中心としたディフェンスや永露の多彩なトス回しに最後まで苦しめられ、熱い応援で会場を盛り上げた呉の観客に勝利を届けることができなかった。											
試合番号 : 270		試合会場 : サイクルショップコダマ大洲アリーナ (大分市大洲総合体育館)				観客数 : 1,012					
開始時間 : 13:00		終了時間 : 14:16		試合時間 : 01:16		主審 : 林 淳一					
副審 : 服部 篤史		通算		通算		通算					
大分三好ヴァイセアドラー		5勝 27敗 ポイント: 13		パナソニックパンサーズ		22勝 10敗 ポイント: 68					
監督コメント	残念ながら勝利を逃してしまいましたが、本日、私たちをサポートして頂いた皆様へ感謝申し上げます。良いプレーも随所に見られましたが、私たちのゲームスタイルが活かせませんでした。リーグはまだ残っています。これからの試合に向けてまた改めて準備していきます。ありがとうございました。			0	16	25	3	監督コメント	ナイス勝利でした。昨日より大分三好がいいプレーをしていたので、厳しい試合でしたが、貴重な勝利をあげることができました。今日から来週の試合に向けて集中して頑張ります。応援ありがとうございました。		
					22	25					
					16	25					
要約レポート											
ホームの声援を受けて勝利したい大分三好ヴァイセアドラーとV・ファイナルステージ進出に向けて連勝を伸ばしたい現在の3位のパナソニックパンサーズの一戦。第1セット、大分三好は途中から入ったバグナスを中心に全員で攻撃を展開していく。パナソニックは大塚の攻撃と流れを遮らないブロックが効果的に決まり終始リードをしてセットを取った。第2セット、パナソニックは清水と山内が中心に得点していく。大分三好は少し難されながらもバグナスが得点を重ね、終盤で追いついていくが、パナソニックが逃げ切りセットを連取した。第3セット、パナソニックは中盤に山内とクビアックのブロックでリードして突き放す。大分三好はバグナスにボールを集めて得点をしていくが流れを掴むことができず、パナソニックがこのセットも取り勝利した。											